



日本共産党 品川区議会議員 区政報告

のだて 稔史

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

コンクリートブロック塀など 撤去とフェンス設置助成 実現

25日から始まった第3回定例区議会にブロック塀撤去等の助成制度の補正予算が盛り込まれました。

制度の内容は下記の通り。12月から始まりません。

この間の災害でもブロック塀の倒壊により犠牲者が出ていました。区は大阪北部地震の後、学校や区有施設を調査し16件のブロック塀を確認しています。

順次ブロック塀への対処を行っていく予定です。

住宅などの危険なブロック塀を撤去する制度がなかったため民地での対応は進んでいませんでした。

塀撤去の助成内容

- 対象：道路沿いの①コンクリートブロック塀
②万年塀
③石積塀
④レンガ塀

塀の撤去のみの助成（0.8m以上のもの）

助成率：全額
限度額：3万円/m

塀撤去と一緒にやる軽量フェンス等工事費助成

助成率：工事費の2分の1
限度額：①軽量フェンス等 1.6万円/m
②高さ0.5m以下のブロック積等 2.6万円/m

※①②の併用が可能



ぜひこの制度を活用し同じ過ちを繰り返さないまちにしていきたいでしょう。

品川区には早急に進めていくため通学路沿線優先に全戸訪問を実施し制度の周知を求めます。

教訓を生かしたまちづくりを進めていきたいと思います。

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、33歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

原発の危険性 防災でも明らかに

9月6日の北海道地震で全道約295万戸が一斉停電するという国内初のブラックアウトが発生しました。

これにより震源地から遠い場所でも酪農家などに大きな被害を与えました。

苦東厚真^{とまとうあつま}火力発電所の3基中2基が緊急停止し、北海道の電力需要300万^{キロワット}の半分近くが供給不能になり、損傷を避けるため他の発電所も停止をした事が原因です。

防災においても大型電源の集中立地となる原発の危険性が明らかになりました。

安倍自公政権は原発をベースロード電源と位置づけ再稼働を懲りずに続けています。

地震国・日本と原発は共存できません。

電力を使用している首都圏から「原発なくせ」の声を広げていきましょう。

原発に固執するのは止め、分散型電源である自然エネルギーの活用をさらに促進していくとこそ急ぐべきです。

品川区でも停電時の対策として避難所への太陽光発電設置を求めます。



第15回

原発いらない さよなら原発 パレード

11月11日(日)午前11時～

しながわ中央公園集合

戸越銀座→戸越公園と歩きます



法律相談

無料

11月6日(火)午後6時30分～8時30分

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。できるだけ事前にご連絡下さい。Tel 3786-6674

日本共産党

消費増税10%はキツパリ中止を